

カメラリポート
長門の話題
7/9



長門市では、市民の誇りである美しい海を守り次世代に受け継いでいくため、平成18年度を「海岸環境美化元年」と位置付け、今年7月9日を「長門市海岸清掃の日」として、仙崎さわやか海岸や只の浜海水浴場、大浜海水浴場など市内7カ所の海岸で清掃活動を行いました。この日は、子どもからお年寄りまで1,500人を超える市民が参加。回収したごみは約10トン(ごみ袋約2,500袋分)になりました。青海島の静ヶ浦では約400人が集まり、ペットボトルや発泡スチロールなどのほか、ハンゲル文字の入ったポリタンクなどの漂着ごみを可燃ごみと不燃ごみに分けながら拾い集めていました。

長門市海岸清掃の日
長門の美しい海を守ろう

長門市では、市民の誇りである美しい海を守り次世代に受け継いでいくため、平成18年度を「海岸環境美化元年」と位置付け、今年7月9日を「長門市海岸清掃の日」として、

カメラリポート
長門の話題
7/16



7月16日、深川湾と仙崎湾を舞台に「長門ヨットフェスタ2006」が開催され、青海島を一周するヨットレースや映画「海猿」に登場した福岡海上保安部巡視船「はかた」の体験航海などが行われました。体験航海では、市内外から約400人が乗船し、また、仙崎のさわやか海岸周辺で開催されたキッズトライアスロンには、県内各地から45人の小学生が参加。夏の強い日差しの中、子どもたちは沿道からの声援を受けながら、過酷な鉄人レースを完了しました。レース終了後に行われた宝探しでは、海にまかれた景品番号入りの玉を一生懸命拾っていました。

長門ヨットフェスタ2006
海のシーズン幕開け!

カメラリポート
長門の話題
7/18



金子みすゞ記念館
入館者50万人突破

7月18日、金子みすゞ記念館の入館者が50万人を突破しました。50万人目の入館者となった久留米市の島村行雄(71)さんには、松林市長と矢崎館長から花束とみすゞ全集などの記念品が贈られました。島村さんは、妻の宏子さん(68)との旅行中に同館を訪れたとこのことで「思いがけずびっくりしました。みすゞさんの詩はわかりやすく、胸にジンとききました」と話していました。同館は、みすゞ生誕百年の平成15年4月11日に開館。約3年4カ月での入館者50万人達成となりました。

カメラリポート
長門の話題
7/7



湯本温泉で長門の味をPR
スイカでもてなし

湯本温泉を訪れる観光客に長門の農産物をPRしようと、7月7日、湯本温泉公衆浴場恩湯前で日置スイカの無料試食会が行われました。湯本温泉旅館協同組合と長門地域地産・地消推進委員会が湯本温泉ゆかたまつり「若旦那ホッと屋台」の中で開催したもので、日置スイカ約500切れのほか、萩たまげなすを使った料理などがふるまわれました。訪れた観光客や温泉客は、音信川の川岸で日置保育園の園児が作った七夕飾りを眺めながら、スイカなど長門の味を堪能していました。

カメラリポート
長門の話題
7/9



ながと和太鼓フェスティバル
響き渡る「きずな」

7月9日、ルネッサながとで「第2回ながと和太鼓フェスティバル2006」が開催され、800人を超える来場者で賑わいました。出演したのは「三隅清風太鼓」、「みすゞ音頭を育てる会「青波」」、「長門和太鼓オーケストラ「翔門」」、「鼓波会」の4団体。それぞれの個性あふれるステージに会場からは大きな拍手が送られていました。今回は、全出演者による合同演奏曲「KIZUNA」も披露。総勢70人を超える大迫力の演奏に、客席も一体となって大いに盛り上がりました。